



町長施政方針演述

社会の大きな変革・流れにも「当機立断」で対応

鈴木重男町長

現在、日本全体で人口減少、少子高齢化が進み、若者世代を中心とした東京一極集中の流れに歯止めがかからず、地方の担い手不足が顕著となっています。

このような状況の中、町民の生活を守るため、生活の質向上に向けた様々な施策に取り組んできました。今後、全ての施策に磨きをかけ安心して住み続けられる町づくりを推進し、町民の福祉向上に務めてまいります。

また、社会はかつてない速さで変革しています。引き続き、社会の流れ、動きを注視し、大きな変化・変革の流れの中にあっても、当機立断で対応し、町民の皆さんが安全・安心に暮らし、幸せを実感できるよう、全力で町政運営に取り組んでまいります。(要約)



教育長行政方針

子ども達の無限の可能性、町民の生活に潤いと生きがいを

石角則行教育長

コロナ禍により変容した新たな生活様式、社会のデジタル化、持続可能な社会への対応など、教育を取り巻く環境が大きく変化しています。

現代社会の行く先が不透明で、目まぐるしく変革する中において、教育課題を的確に捉え、適切な対応と良質な改善策を進めるとともに、教育を通じて子どもたちの無限の可能性を引き出し、夢の実現を支え、さらに町民一人ひとりが、日々の生活に潤いと生きがいを感じてもらえるよう、町の教育の充実と発展に取り組みます。(要約)

6年度 当初予算を決定

備え財源確保



新園舎で過ごす五日市保育園の園児たち

当初予算額

会計名	予算額
特別	
国民健康保険事業	7億9070万円
後期高齢者医療事業	9260万円
小計	8億8330万円
企業	
病院事業	14億4316万円
水道事業	5億6029万円
下水道事業	3億2012万円
計	23億2357万円

特別・企業会計

二つの特別会計の当初予算総額は、8億8330万円で、前年度に比べて5309万円、5.7%増減しました。新たに企業会計に加わった下水道事業会計を加えた三つの企業会計の当初予算総額は、23億2357万円となりました。

医療養病床の廃止に伴い医療収益の増加が見込まれることから、前年度に比べて1億1153万円、8.3%増加しました。北部地区水道施設整備事業による増

3月定例会議

3月定例会議は、3月1日から8日までの8日間の日程で行われました。冒頭、鈴木町長が施政方針を、石角教育長が教育行政方針の演述を行いました。町長から提出された議案は6年度一般会計予算など22件で、原案どおり「決定」しました。一般質問では4人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

前年度より0.9%増

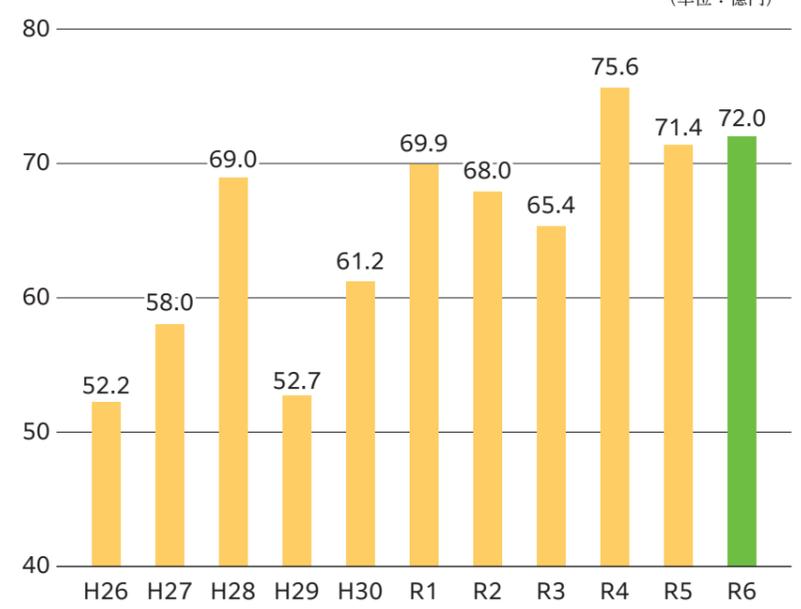
一般会計

6年度の一般会計当初予算は、72億812万円で前年度に比べて6415万円、0.9%の増となっています。

自主財源4.0%増

収入は全体の48.6%を占める地方交付税が35億円で、前年度に比べて1億1000万円、3.2%増加しました。町税は5億9328万円で、

一般会計当初予算額の推移



前年度に比べて2681万円、4.7%増加しました。基金からは8億9500万円繰入れ、主にくすまゝの周辺の2期工事等の財源となります。自主財源の割合は23.9%で、前年度に比べて2億9675万円、20.8%増加しました。新規・継続事業を充実

また、最終処分場遮水シート敷設事業や乳製品加工施設整備事業、教職員住宅整備事業などの新規事業のほか、道路改良・町道葛巻浦子内線及び町道茶屋場田子線、草地更新支援事業、畜産

労働力負担軽減対策事業、エコ・エネ総合対策事業など継続事業の拡充が盛り込まれました。一般会計予算の詳しい内訳は4~5ページを、主な新規事業は6~7ページをご覧ください。